

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」 .....

# たまちゃん通信

令和2年3月発行 121-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

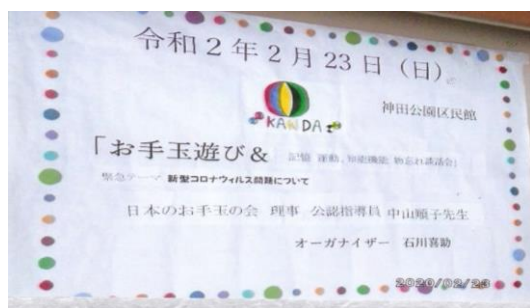
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp / URL：http://www.otedama.jp

## ウイルス感染に配慮した月例会

### 神田お手玉の会が対策も話題にして

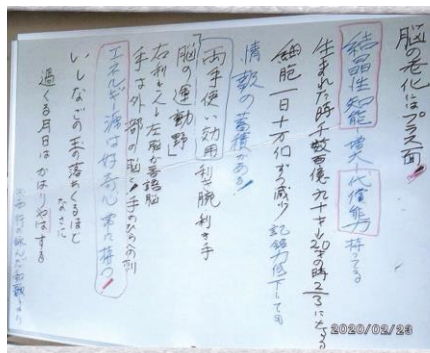
神田お手玉の会(石川喜助会長)は、令和2年2月23日(日)、千代田区神田公園区民館で例会を開催しました。コロナウイルスの感染が心配されていたので、例会の開催を躊躇しました。しかし、2月12



日付の東京新聞(関東版)の「カルチャーインフォメーション」欄で例会の開催が紹介されていたため、中止はできませんでした。(写真左：当日のテーマと内容)

そこで、急遽、「お手玉遊び」に緊急テーマ『新型コロナウイルス感染について』を加えて開催しました。県外から1時間かけてこられた方もいました。

運営にあたっては、講師の中山順子日本のお手玉の会理事が用意した新品のお手玉を使い、お手玉遊び本来のお互いの接触交流を避け、デスクは2人掛けに1人ずつにしました。さらに、マスクを用意し、アルコールでの手の消毒にも配慮しました。(写真右：話題の要旨)



話題には、2月20日に東京都が打ち出した「コロナ感染問題への対応策」を加えました。東京マラソンの一般参加の中止で備蓄していたマスクの放出や、検査機関は保健所だけでなく民間の医療機関へも委託すること、予算計上の内容、検査費用は保険適用することなどを行政に申し入れたことも話しました。

これらの対策は、石川会長が都に申し入れていたことが実現することで、話に熱がこもっていました。

石川会長は、話の終わりに2009年と10年の新型インフルエンザの流行と東日本大震災の被災地に向けて、柴田トヨさんが詠んだ詩集『百歳』を朗読しました。(その一編が右の詩)

例会のあと参加者の大塚恵美子さん(83)から石川会長のところへ、次のような一首が届きました。

**流行**

世界の何処かで  
 今も 戦争が起こっている  
 日本の何処かで  
 いじめもおきている  
 やさしさの  
 インフルエンザが  
 流行しないかしら  
 思いやりの症状が  
 まんえんすればいい

柴田トヨ著『百歳』から

伝え継(つ)ぐ 手毬(まり)お手玉 リズムよく 童子歌いて おもしろ楽しく